

教育学研究科教育学専攻（通信課程）学修の成果に係る評価基準

【成績の段階と評価結果について】

成績の記号	評価（点数）	合否
A（優）	100～80点	合格
B（良）	79～70点	
C（可）	69～60点	
D（不可）	59～0点	不合格

【単位の認定について】

科目を履修し、次の条件を満たすことで所定の単位が認定されます。

通信授業（レポートおよび単位修得試験）の場合

- ①履修登録が確実に行われていること。
- ②指定の期日までに所定のレポートを提出し、受理されていること。
- ③指定の期日までに試験を申し込み、試験日に受験していること。
- ④当該科目のレポートおよび試験の評価が合格していること。

面接授業（スクーリング）およびレポートの場合

- ①履修登録が確実に行われていること。
- ②指定の期日までに面接授業の申込みがされていること。
- ③当該科目における所定の出席日を満たしていること。
- ④当該科目の評価が合格していること。
- ⑤当該科目のレポートが合格していること。

8. 通信制大学院 博士前期課程

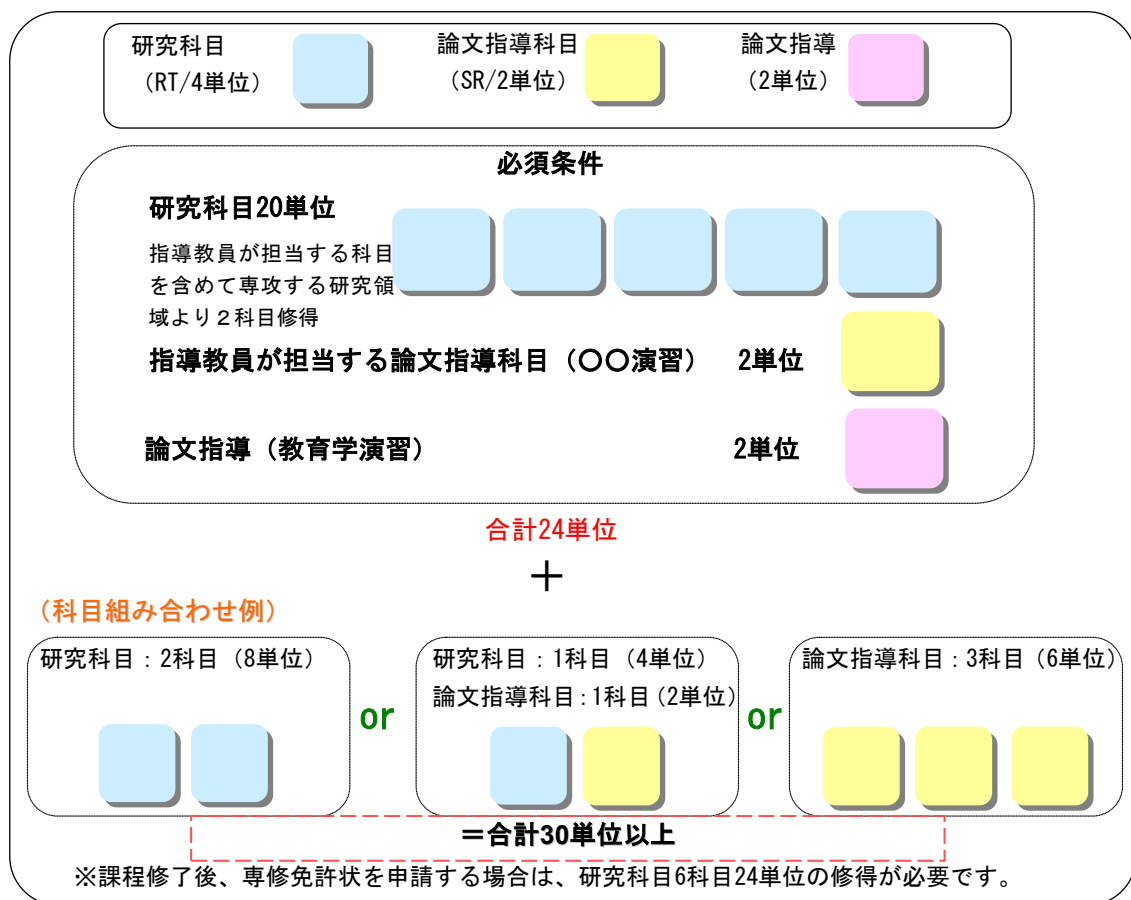
(1) 開設科目

	研究領域	科目名	担当教員	受講法	単位数	備考	
教育学研究科目	授業研究領域	授業研究 A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4		
		授業研究 B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4		
		授業研究 C (情報教育)	今野 貴之	R T	4		
		授業研究 D (教育社会学)	須藤 康介	R T	4		
		授業研究 E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4		
		授業研究 F (教育行財政)	神林 寿幸	R T	4		
	幼児教育研究領域	幼児教育研究 A (保育)	齋藤 政子	R T	4		
		幼児教育研究 B (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4		
		幼児教育研究 C (児童家庭福祉)	石田 健太郎	R T	4		
		幼児教育研究 D (音楽教育)	板野 和彦	R T	4		
	障害児者教育研究領域	障害児者教育研究 A (障害児者の学習・発達支援)	森下 由規子	R T	4		
		障害児者教育研究 B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4		
		障害児者教育研究 C (小児保健)	星山 麻木	R T	4		
	論文指導科目	授業研究領域	授業研究演習 A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	S R	2	
			授業研究演習 B (実践・評価)	吉富 芳正	S R	2	
授業研究演習 C (情報教育)			今野 貴之	S R	2		
授業研究演習 D (教育社会学)			須藤 康介	S R	2		
授業研究演習 E (教育心理学)			杉本 明子	S R	2		
授業研究演習 F (教育行財政)			神林 寿幸	S R	2		
授業研究演習 G (生涯学習)			—	S R	2	非開講	
授業研究演習 H (看護教育)			白水 真理子	S R	2		
幼児研究領域		幼児教育研究演習 A (保育)	齋藤 政子	S R	2		
		幼児教育研究演習 B (児童文化)	羽矢 みずき	S R	2		
		幼児教育研究演習 C (児童家庭福祉)	石田 健太郎	S R	2		
		幼児教育研究演習 D (音楽教育)	板野 和彦	S R	2		
障害児者教育研究領域		障害児者教育研究演習 A (障害児者の学習・発達支援)	森下 由規子	S R	2		
		障害児者教育研究演習 B (障害児者自立支援)	島田 博祐	S R	2		
		障害児者教育研究演習 C (小児保健)	星山 麻木	S R	2		
論文指導		教育学演習 (修士論文指導)	論文指導教員		2		

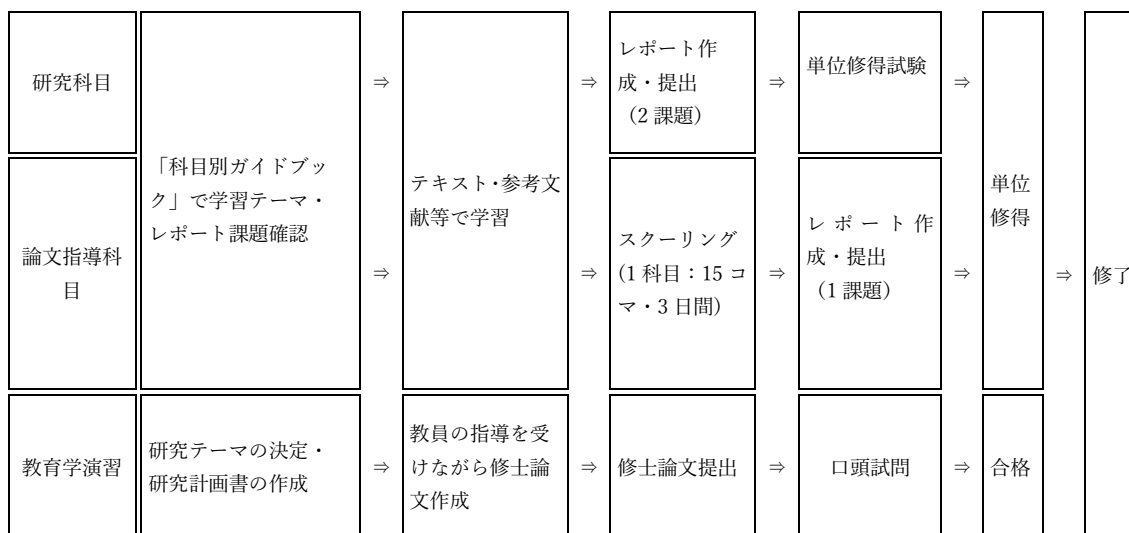
(2) 修了要件

博士前期課程の修了要件は、以下の通りです。

- ①2年以上在学していること。
- ②修得単位について、以下の条件を満たし、合計30単位以上修得していること。
 - 1)「教育学研究科目」より、論文指導教員の担当科目を含む同一研究領域から2科目(8単位)以上を修得し、合計5科目(20単位)以上を修得。
 - 2)「論文指導科目」より、論文指導教員が担当する科目を含めて2単位以上を修得し、かつ「教育学演習」2単位を修得していること。なお、論文指導科目は、4科目(8単位)までが修了要件単位として算入される。
- ③学位論文を提出し、学位論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格すること。



(3) 修了までの流れ



(4) 履修条件

- ① 単年度につき 28 単位まで履修登録できます。ただし、RT 科目及び SR 科目は、2 年間で最大 44 単位分まで登録できます。
- ② 履修登録は年度ごとに行います。履修登録をして、年度内に単位を修得できなかった科目を翌年度に再履修する場合は、次年度も履修登録してください（試験やスクーリングが合格していて、レポートが不合格の科目は含みません）。
- ③ 年度途中での追加履修は、原則としてできません。
- ④ 「教育学演習（論文指導）」はテキストがありません（上記 44 単位に含まれません）。

(5) 履修登録ガイド

- ① 「履修届」を作成し、提出してください。提出方法は StarWeb に掲載します。
- ② 論文指導科目（○○○研究演習）の履修が 4 科目（8 単位）を超える場合、履修は可能ですが超過分は修了単位数として算入されません。
- ③ 入学初年度に履修上限である 28 単位を登録し、全て単位修得すると、2 年目は「教育学演習」（論文指導）2 単位の履修と修士論文作成のみとなります。単位修得試験やスクーリング日程も考慮の上、各自学習や研究のペース配分を考え履修登録を行ってください。
- ④ 1 年目に 28 単位を単位修得すると 2 年目は 16 単位分まで登録することができます。
[例] 初年度 28 単位登録 → 2 年目 = (44 - 28) = 16 単位分
- ⑤ 修了要件に関わる科目で、単位修得できなかった科目は、次年度再履修の登録を行ってください。
[例] 初年度 28 単位登録し 16 単位修得 → 2 年目に再履修 12 単位を含めた 28 単位を履修する場合 → 再履修 12 単位 + 2 年目 14 単位 + 教育学演習 2 単位 = 28 単位
※初年度に単位未修得となった科目を再履修しない場合でも上限は 44 単位です。
※2 年目以降の履修は、再履修科目を含めて最大 28 単位までの登録となります。
※修了要件以上の単位修得は任意となります。
※新たな履修登録科目がない場合も履修届を提出してください。

①受講手続き

年度始めの履修登録（履修届の提出）により受講ができます。

②スクーリング事前情報

詳細は、実施の約2週間前にLMS等で通知します。

③欠席

原則として、全日程・全時間の出席が必要です。1コマまでの欠席は認められますが、1コマ以上の欠席がある場合は、単位認定されません。諸事情によりスクーリングの受講が出来ない場合は、授業開始前までに大学院担当へご連絡ください。

④スクーリング科目のレポート提出

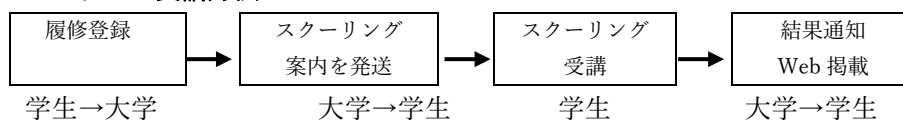
- 1) スクーリング受講科目は、1通（2単位分）を期限までに提出することが必要です。レポートはStarWebより提出してください。
- 2) レポート締切日までに、当該レポートが提出されなかった場合は、スクーリングの評価が無効となります。
- 3) レポート締切は、受講月の翌日末必着です。年度により変動しますので、最新の学事日程を確認してください。

⑤受講結果通知

スクーリング受講月の翌々月末に、受講結果をStarWebログイン後の学習状況照会に表示します。スクーリング評価はスクーリングの受講と受講科目のレポートによる総合評価となります。

合格	優（A）	100～80点
	良（B）	79～70点
	可（C）	69～60点
不合格	不可（D）	59～0点
否	面接授業の出席日数不足	
欠席	面接授業の全日程欠席	

⑥スクーリング受講方法



(9) 専修免許状

博士前期課程は、教育職員免許法（昭和 24 年法律第 147 号）第 5 条別表第 1 備考第 5 号イに規定する、教員の免許授与の所要資格を獲得するための大学院課程として認定を受けています。（課程認定適用開始：平成 11 年 4 月 1 日）

本通信制大学院では、以下の専修免許状の取得ができます。

所有する免許状	取得可能な免許状
幼稚園教諭 1 種免許状	幼稚園教諭専修免許状
小学校教諭 1 種免許状	小学校教諭専修免許状
中学校教諭 1 種免許状（社会）	中学校教諭専修免許状（社会）
高等学校教諭 1 種免許状（地理歴史、公民）	高等学校教諭専修免許状（地理歴史、公民）

【専修免許状の取得方法】

① 大学院を修了し、所定の単位を取得して専修免許状を取得する場合

所有する免許状により専修免許状取得の科目が異なります。下表より研究科目(4 単位)を 6 科目 24 単位以上履修し、単位を修得してください。但し、基礎となる教員免許状（1 種教員免許状）を、第 5 条別表 1 により取得した方に限ります。

1989 年 3 月以前に、教員免許状を取得した場合は、その免許状は各 1 種免許状に該当します。

幼稚園・小学校・中学校；一級普通免許状 高等学校；二級普通免許状

科目名	単位数	幼稚園	小学校	中学校 (社会)	高等学校 (地理歴史 公民)
授業研究 A（歴史・理論）	4	○	○	○	○
授業研究 B（実践・評価）	4	○	○	○	○
授業研究 C（情報教育）	4	○	○	○	○
授業研究 D（教育社会学）	4	○	○	○	○
授業研究 E（教育心理学）	4	○	○	○	○
授業研究 F（教育行財政）	4	○	○	○	○
幼児教育研究 A（保育）	4	○	○	※	※
幼児教育研究 B（児童文化）	4	○	○	※	※
幼児教育研究 C（児童家庭福祉）	4	○	○	※	※
幼児教育研究 D（音楽教育）	4	○	○	※	※
障害児者教育研究 A（ 視覚障害 聴覚・言語機能障害）	4	○	○	○	○
障害児者教育研究 B（ 聴覚障害 視覚障害）	4	○	○	○	○
障害児者教育研究 C（小児保健）	4	○	○	※	※

※2018 年度までの入学者は、※印の科目も中学校・高等学校専修免許状の科目として含めることが可能。

②教育職員免許法施行規則第 10 条の 2 により専修免許状を取得する場合

前項①に掲げる校種（高等学校を除く。）、教科の免許状を所持している場合、教育職員免許法施行規則第 10 条の 2（以下「第 10 条の 2」という。）で取得する方法がありません。単位数等の確認は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

※高等学校教諭 1 種免許状からの上申は、適用されません。また、本学通信制大学院では、開設科目の関係から、第 10 条の 2 による 2 種免許状から専修免許状への上申はできません。

③教育職員免許法第 6 条別表第 3 により専修免許状を取得する場合

幼稚園、小学校、中学校、高等学校の 1 種免許状を所持し、その該当する学校等で実務が 3 年以上ある場合は、専修免許状を教育職員免許法第 6 条別表第 3（以下「別表第 3」という）で取得する方法があります。別表第 3 で取得する場合は、勤務している都道府県教育委員会（免許状授与権者）の指導を受けてください。

教員免許の申請は、①～③のいずれの場合も個人申請（各自が教育委員会に免許状を申請）になります。申請手続きは、勤務する学校を所管する都道府県教育委員会（免許状授与権者）に問い合わせてください。

9. 通信制大学院 博士後期課程

(1) 開設科目

	研究領域	科目名	担当教員	受講方法	単位数	備考
教育学特殊研究科目	授業研究領域	授業特殊研究A (歴史・理論)	廣嶋 龍太郎	R T	4	
		授業特殊研究B (実践・評価)	吉富 芳正	R T	4	
		授業特殊研究C (情報教育)	今野 貴之	R T	4	
		授業特殊研究D (教育社会学)	須藤 康介	R T	4	
		授業特殊研究E (教育心理学)	杉本 明子	R T	4	
		授業特殊研究F (教育行財政)	—	R T	4	非開講
	幼児教育研究領域	幼児教育特殊研究A (保育)	齋藤 政子	R T	4	
		幼児教育特殊研究B (音楽教育)	板野 和彦	R T	4	
		幼児教育特殊研究C (児童家庭福祉)	石田 健太郎	R T	4	
		幼児教育特殊研究D (児童文化)	羽矢 みずき	R T	4	
	障害児者教育研究領域	障害児者教育特殊研究A (障害児者の学習・発達支援)	—	R T	4	非開講
		障害児者教育特殊研究B (障害児者自立支援)	島田 博祐	R T	4	
		障害児者教育特殊研究C (小児保健)	星山 麻木	R T	4	
論文指導	教育学特殊演習 I、II、III	廣嶋 龍太郎			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	吉富 芳正			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	今野 貴之			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	須藤 康介			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	杉本 明子			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	齋藤 政子			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	板野 和彦			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	石田 健太郎			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	羽矢 みずき			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	島田 博祐			各4	
	教育学特殊演習 I、II、III	星山 麻木			各4	

(2) 修了要件

本学通信制大学院 博士後期課程の修了要件は、次の通りです。

①3年以上在学することが必要です。

②修得単位について、以下の条件を満たし、合計24単位以上修得することが必要です。

1)「教育学特殊研究科目」は、指導教員の研究領域から担当科目を含む2科目(8単位)を修得し、さらに同一研究領域または他の研究領域から1科目(4単位)の合計3科目(12単位)以上の修得。

2)指導教員が担当する「教育学特殊演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を各4単位合計12単位の修得。

③博士学位請求論文を提出し、学位論文審査及び最終試験(口頭試問)に合格することが必要です。

例)「授業研究領域」を専攻している場合

授業特殊研究科目(専攻研究領域)
2科目(8単位)



指導教員の授業特殊研究科目



指導教員以外の授業特殊研究科目

専攻研究領域、または他の研究領域の
特殊研究科目:1科目(4単位)



授業研究領域(専攻研究領域)科目

or



幼児教育研究領域の科目

or



障害児者教育研究領域の科目

教育学特殊演習Ⅰ～Ⅲ:3科目(12単位)
(指導教員が担当)



I



II



III

=合計24単位以上

(3) 修了までの流れ (概要)



(4) 履修条件

- ①特殊研究科目は年間 16 単位まで履修することができ、3 年間で最大 48 単位まで履修可能です。**履修した科目は、当該年度内のみ有効です。**
- ②年度内に単位を修得できなかった科目で、引き続き学習し、単位を修得したい場合は、翌年度、再履修してください。再履修科目についても、年間の制限単位数 (16 単位) の中に含まれます。
- ③**年度途中での追加履修はできません。**あらかじめご注意ください。
- ④教育学特殊演習 I、II、III (博士論文研究) は年次進行により 4 単位ずつ履修します。年間制限単位数の 16 単位には含まれません。

(5) 教育学特殊演習

- ①教育学特殊演習科目は博士論文研究となります。
- ②「教育学特殊演習 I」は、各自の指導教授が担当する博士前期課程のスクーリングを受講することにより、2 単位分を充当します (スクーリング日程は、最新の学事日程を参照してください)。
- ③「教育学特殊演習 I」では 2 単位分相当、「教育学特殊演習 II・III」においては 4 単位分相当の博士論文研究指導 (面接・通信) を指導担当教員より受けることになります。
- ④研究指導は「教育学特殊演習指導報告票」に記録をし、「教育学特殊演習 (I・II・III) 指導報告票」は 3 月末までに通信教育事務室に提出してください。但し当該年度に博士論文を提出される方については、教育学特殊演習 III の指導報告票を博士論文提出時に併せて大学院担当に提出してください。